

# 環境報告書

ENVIRONMENTAL REPORT



東京鉄鋼グループ

# 2021



# 目次



はじめに	…………… P 2
社長メッセージ	…………… P 3
<b>1. 会社概要</b>	…………… P 5
(1) 基本情報	…………… P 5
(2) 拠点一覧	…………… P 5
(3) 沿革	…………… P 6
(4) 事業内容	…………… P 7
(5) 主要な経営指標等の推移	…………… P 8
(6) 事業紹介	…………… P 9
(7) バリューチェーン	…………… P11
(8) 機会とリスクと当社の目指す姿	…………… P12
<b>2. コーポレート・ガバナンス等の状況</b>	…………… P13
(1) コーポレート・ガバナンス	…………… P13
(2) リスク管理体制	…………… P14
<b>3. 環境への取り組み</b>	…………… P15
(1) 取組方針	…………… P15
(2) コミットメント	…………… P15
(3) サステナビリティ・ビジョン	…………… P16
(4) 環境マネジメント体制	…………… P17
(5) 環境マネジメントシステム	…………… P17
(6) 環境目標と実績	…………… P18
(7) 主な実績評価指標	…………… P19
(8) 環境負荷低減における取り組み	…………… P22
(9) 社会貢献活動	…………… P24

# はじめに

---

## 【編成方針】

- 「環境報告書2021」は、東京鉄鋼グループ(東京鉄鋼および関係会社)の環境活動と社会貢献活動について、全てのステークホルダーの皆様に分かりやすく報告することを目的として作成しました。

## 【報告対象組織】

- 報告対象組織は当社および連結の範囲に含まれる全グループ会社です。
- なお、報告書内において報告対象組織が異なる場合は、その範囲を記載しています。

## 【報告対象期間】

- 報告対象期間は2020年4月から2021年3月の1年間です。
- なお、上記期間を原則としていますが、対象期間以前からの取り組みや直近の活動状況も一部含みます。

## 【参考ガイドライン等】

- 環境省「環境報告ガイドライン2018年版」

## 【お問い合わせ先】

- 東京鉄鋼株式会社 総合企画部
- T E L 03-5276-9702
- メールアドレス [kikaku@tokyotekko.co.jp](mailto:kikaku@tokyotekko.co.jp)
- ホームページ <http://www.tokyotekko.co.jp>

## 社長メッセージ

---

### 東京鉄鋼について

---

東京鉄鋼は電気炉によって鉄筋コンクリート用棒鋼（鉄筋）を製造するメーカーです。鉄筋の原材料は建設解体現場や生産工場の加工工程で発生する鉄スクラップであり、『鉄資源リサイクル』を担う企業としての役割を果たしています。

製品群は、主に鉄筋コンクリート造の高層マンションにご採用頂いております。日本が地震の多い国であることやマンションの高層化によるニーズに応えるため、高強度・太径の鉄筋をラインナップし、建設業界へ製品を提供します。主力製品である「ネジテツコン」は、表面がネジ節状の鉄筋であり、専用の継手を使用することで機械的に鉄筋同士を接合することが特徴です。悪天候でも専門の職人以外でも作業可能であり、省力化や工期短縮を図ることができます。その結果、トータルコストを削減する効果を生み出しています。

当社の「強み」は、建設トータルコストを削減する「省力化ソリューション」を建物の設計段階から提案していることです。一般的に、建設資材メーカーは購買部門に製品提案を行います。当社は棒鋼メーカーでありながら、お客様の悩みを共に考える技術営業の人材を育成しており、競合他社の追随を許さない体制へと成長しています。

### 外部環境と成長戦略

---

主原料である鉄スクラップ価格が十数年ぶりの高騰・高止まりにより、大変厳しい環境です。

しかし、この環境下でも当社が取り組むべきことは既に決定しています。当社は2019年に『中期

経営方針』を公表し、この方針に沿って次の各施策に取り組みます。

当社の鉄鋼事業は原材料の高騰等の市況変動に大きく左右されます。当社は「強み」である営業力を活かして、顧客ニーズに対応する高付加価値製品の販売を促進し、収益力増加に注力します。また、新商品の開発を推進し、市況変動に左右されない収益構造の確立を目指します。

### 持続可能な社会の実現に向けて

---

東京鉄鋼は『鉄資源リサイクル』を通して環境負荷低減に寄与するとともに、環境保全を成長戦略として捉えた環境リサイクル事業を展開しています。八戸工場では電気炉溶融を起点に処理可能な産業廃棄物の種類を拡大し、炭化炉を使用して非金属の高度な分解とエネルギーの回収を行っています。

近年、国際的に環境配慮への関心が高まる中、日本は2050年に国内の温室効果ガス排出を実質ゼロにする目標を掲げており、国内でも持続可能な社会の実現に向けた取り組みが加速しています。当社の事業領域である建設業界も同様であり、当社の環境への取り組み内容や温室効果ガス排出量に関するお問い合わせが増加しています。当社は2014年から「環境報告書」を作成しています。ステークホルダーの皆様にご覧いただき、当社の環境活動や社会貢献活動を報告すると共に、自主的な環境情報開示を行っています。

電気炉を保有する当社は電力多消費産業に属しており、当社が自社で排出する温室効果ガスのうち、約70～80%が電気の使用に伴うものです。



# 東京鉄鋼



温室効果ガスの削減には再生可能エネルギーの普及や化石燃料の使用量削減が挙げられますが、まずは足許の原単位の低減や省エネ活動を推進します。

また、サステナビリティ・ビジョンとして、当社の活動内容と、SDGsのゴールとの関連性を説明しています。

## おわりに

東京鉄鋼は、コーポレートメッセージ「建設業の発展に寄与し、環境リサイクルへの貢献を目指す東京鉄鋼」を制定しています。トータルなエンジニアリングサービスの提供を通じて、建設業の発

展に寄与する新しい都市と社会の在り方を追求するとともに、循環型社会の実現に貢献する企業として活動して参ります。

2022年1月

東京鉄鋼株式会社

代表取締役社長

吉原 每文

# 1. 会社概要

## (1) 基本情報

会社名	東京鉄鋼株式会社				
本店所在地	栃木県小山市横倉新田520番地				
会社設立	1939年6月23日	資本金	58億3千9百万円	従業員	830名(連結 2021年3月31日現在)

## (2) 拠点一覧

事業所	東京本社	〒102-0071 東京都千代田区富士見2-7-2 ステージビルディング10階・11階・12階 TEL:03-5276-9700 FAX:03-5276-9711 URL <a href="http://www.tokyotekko.co.jp">http://www.tokyotekko.co.jp</a>
	大阪支店	〒541-0042 大阪府大阪市中央区今橋3-3-13 ニッセイ淀屋橋イースト13階 TEL:06-4707-1450 FAX:06-4707-1454
	名古屋営業所	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3-5-31 シブラルタ生命名古屋錦ビル3階 TEL:052-962-3530 FAX:052-962-3536
	東北営業所	〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町4-1-1 仙台セントラルビル3階 TEL:022-222-0665 FAX:022-222-0667
	福岡営業所	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1-7-22 第14岡部ビル9階 TEL:092-433-2122 FAX:092-433-2123
	札幌営業所	〒060-0001 北海道札幌市中央区北一条西3-3 札幌MNビル10階 TEL:011-206-6477 FAX:011-206-6466
	本社工場	〒323-0819 栃木県小山市横倉新田520 TEL:0285-27-4411 FAX:0285-31-1004
	総合加工センター	〒323-0813 栃木県小山市横倉1108 TEL:0285-27-4480 FAX:0285-27-4490
	八戸工場	〒039-1161 青森県八戸市河原木海岸4-11 TEL:0178-28-9191 FAX:0178-28-6565
	ティーティーケイ コリア株式会社	〒135-918 韓国ソウル市江南区テヘラン路322 韓信インターバレー24 西館1708号 TEL:82-2-2183-0692 FAX:82-2-2183-0698
グループ会社	トーテツ興運 株式会社	〒323-0813 栃木県小山市横倉590-2 TEL:0285-27-4421 FAX:0285-27-4425
	トーテツ産業 株式会社	〒323-0813 栃木県小山市大字横倉662番地 TEL:0285-27-2339 FAX:0285-27-3430
	東京鉄鋼土木 株式会社	東京都千代田区富士見二丁目7番2号 ステージビルディング10階 TEL:03-3230-2741 FAX:03-3230-2844
	トーテツメンテナンス株 式会社	〒323-0813 栃木県小山市横倉1108 TEL:0285-28-1621 FAX:0285-28-2301
	株式会社 関東メタル	〒306-0432 茨城県猿島郡境町大字下小橋867 TEL:0280-86-7401 FAX:0280-86-7407
	トーテツ資源 株式会社	〒039-1161 青森県八戸市河原木海岸17-8 TEL:0178-28-5151 FAX:0178-28-5190
共同販売会社	東北デーパー・ スチール株式会社	〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町2-1-2 NMF仙台青葉通りビル8階 TEL:022-222-0368 FAX:022-225-6380
	東京デーパー 販売株式会社	〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-3-1 NBF小川町ビルディング5階 TEL:03-5244-5908 FAX:03-5244-5946

### (3) 沿革

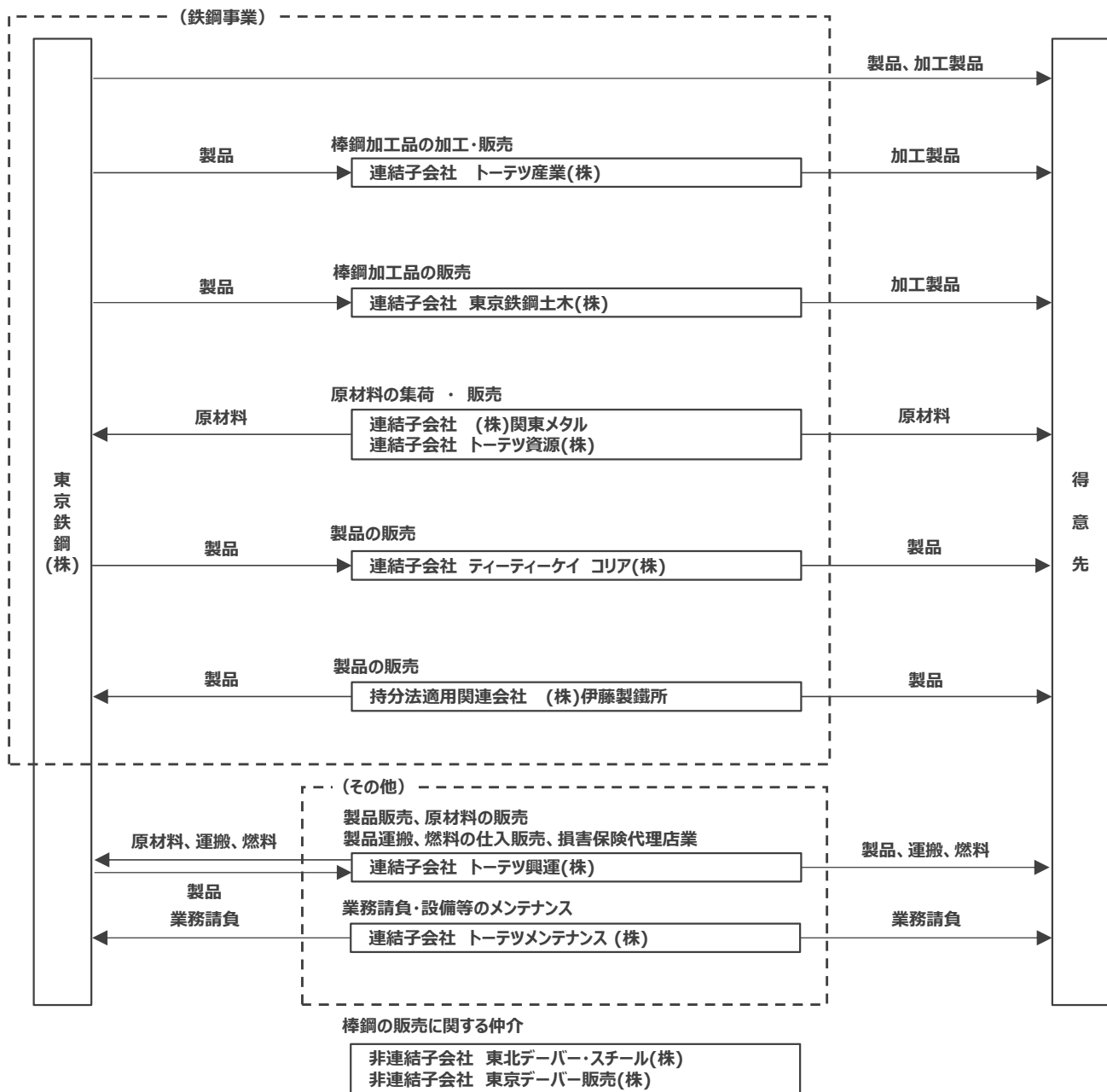
- 1939年6月 東京都足立区に東京鐵鋼株式会社を設立、銑鉄及び鑄鉄の製造を開始
- 1959年4月 普通鋼鋼塊の製造を開始
- 1969年3月 栃木県小山市に小山工場製鋼工場を完成
- 1969年5月 小山工場圧延工場完成、棒鋼の生産を開始
- 1970年10月 株式会社武蔵製鋼所（現・東京鐵鋼土木株式会社）の経営権を取得（現・連結子会社）
- 1971年6月 東京証券取引所の市場第二部に上場
- 1973年4月 東京都足立区にトーテツ興運株式会社を設立（現・連結子会社）
- 1974年4月 東京証券取引所の市場第一部に上場
- 1976年2月 青森県八戸市に八戸工場製鋼工場を完成
- 1978年3月 本店を栃木県小山市横倉新田520番地に移転し、小山工場を本社工場と改称
- 1979年3月 茨城県猿島郡境町に境事業所を完成し銑鉄及び鑄鉄品の製造開始
- 1980年7月 栃木県小山市にトーテツ産業株式会社を設立（現・連結子会社）
- 1981年9月 八戸工場圧延工場を完成、棒鋼の生産を開始
- 1983年2月 ネジフシ鉄筋「ネジテツコン」を用いた継手工法について（財）日本建築センターの評定を取得（評定No.BCJ-C1039）
- 1989年3月 栃木県小山市にトーテツメンテナンス株式会社を設立（現・連結子会社）
- 1989年8月 一般建設業の許可を取得「栃木県知事許可（般-1）第16576号」
- 1990年10月 株式会社シントーの経営権を取得
- 1991年3月 栃木県小山市に総合加工センターを完成
- 1993年9月 茨城県猿島郡境町に株式会社関東メタルを設立（現・連結子会社）
- 1996年5月 本社工場、八戸事業所でISOの品質マネジメントシステムの認証を取得「ISO9002/JISZ9902」
- 1996年7月 トーテツ興運株式会社本店を栃木県小山市に移転
- 1999年2月 東京都新宿区に東京本社を移転
- 2001年12月 青森県八戸市に東北東京鐵鋼株式会社を設立
- 2002年7月 有限会社吉栄の出資総持分を取得し完全子会社化
- 2004年9月 東北東京鐵鋼株式会社でISOの環境マネジメントシステムの認証を取得「ISO14001/JISQ14001」
- 2005年3月 東北東京鐵鋼株式会社が、株式会社伊藤製鐵所と共同で、東北デーバー・スチール株式会社を設立（2005年4月営業開始）
- 2005年9月 東京鐵鋼株式会社（小山地区）で、ISOの環境マネジメントシステムの認証を取得「ISO14001/JISQ14001」
- 2007年10月 東北東京鐵鋼株式会社と株式会社シントーが合併（存続会社 東北東京鐵鋼株式会社）
- 2008年4月 有限会社吉栄を吸収合併
- 2009年9月 東京都千代田区に東京本社を移転
- 2013年10月 韓国ソウル市にティーティーケイ コリア株式会社を設立（現・連結子会社）
- 2014年12月 青森県八戸市にトーテツ資源株式会社を設立（現・連結子会社）
- 2015年4月 東北東京鐵鋼株式会社を吸収合併
- 2018年4月 株式会社伊藤製鐵所と資本業務提携を行い、持分法適用関連会社化
- 2018年10月 株式会社伊藤製鐵所と共同で、東京デーバー販売株式会社を設立（2019年2月営業開始）

## (4) 事業内容

当社グループは、当社、連結子会社7社、非連結子会社2社及び持分法適用関連会社1社で構成され、棒鋼及び加工の製造販売を主な事業の内容としております。

鉄鋼事業 …… JIS規格による小形棒鋼及び鉄筋の機械式継手の製造・販売を行っております。

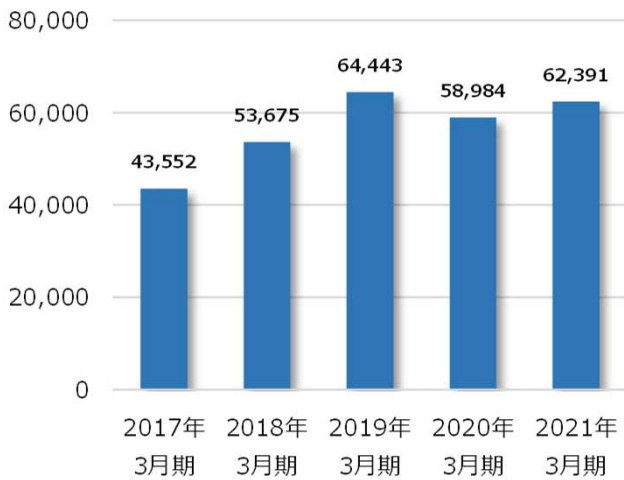
その他 …… 鉄鋼事業に含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、設備のメンテナンス事業等を含んでおります。



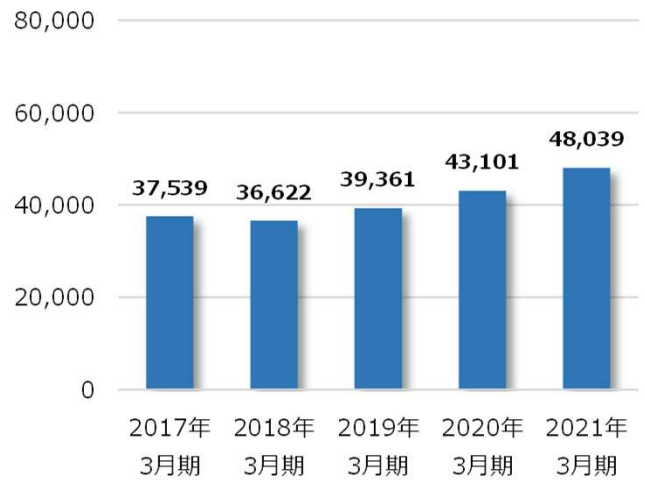


## (5) 主要な経営指標等の推移 (連結)

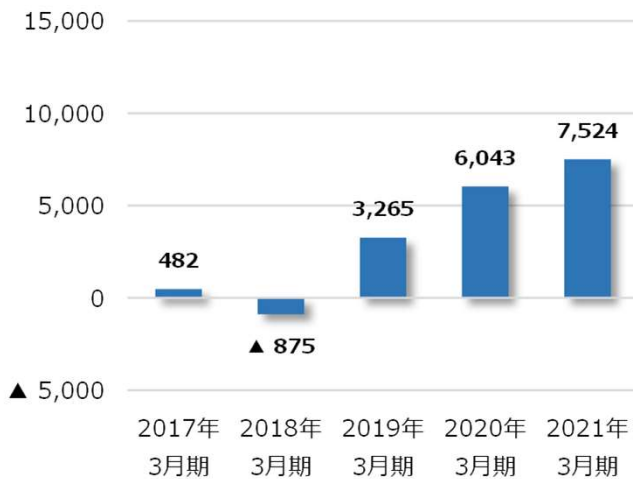
### 売上高 [単位：百万円]



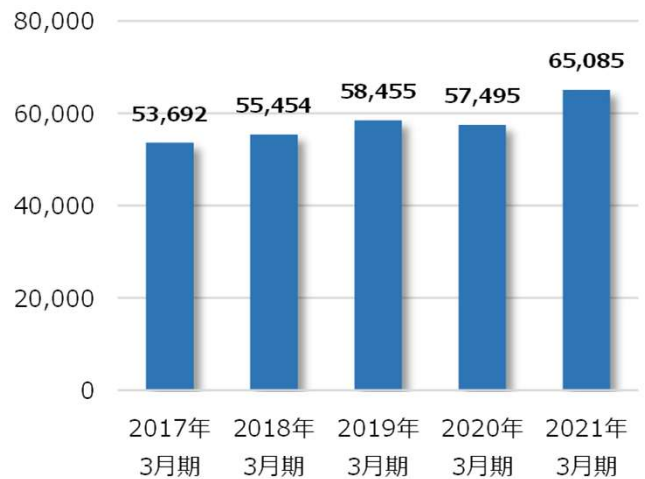
### 純資産 [単位：百万円]



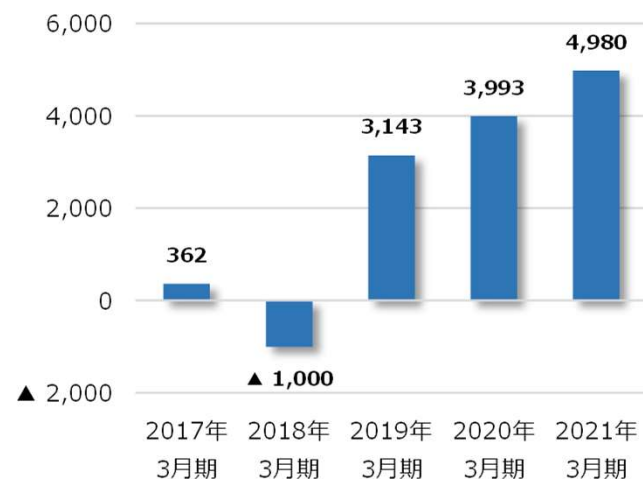
### 経常利益 [単位：百万円]



### 総資産 [単位：百万円]



### 親会社株主に帰属する当期純利益 [単位：百万円]

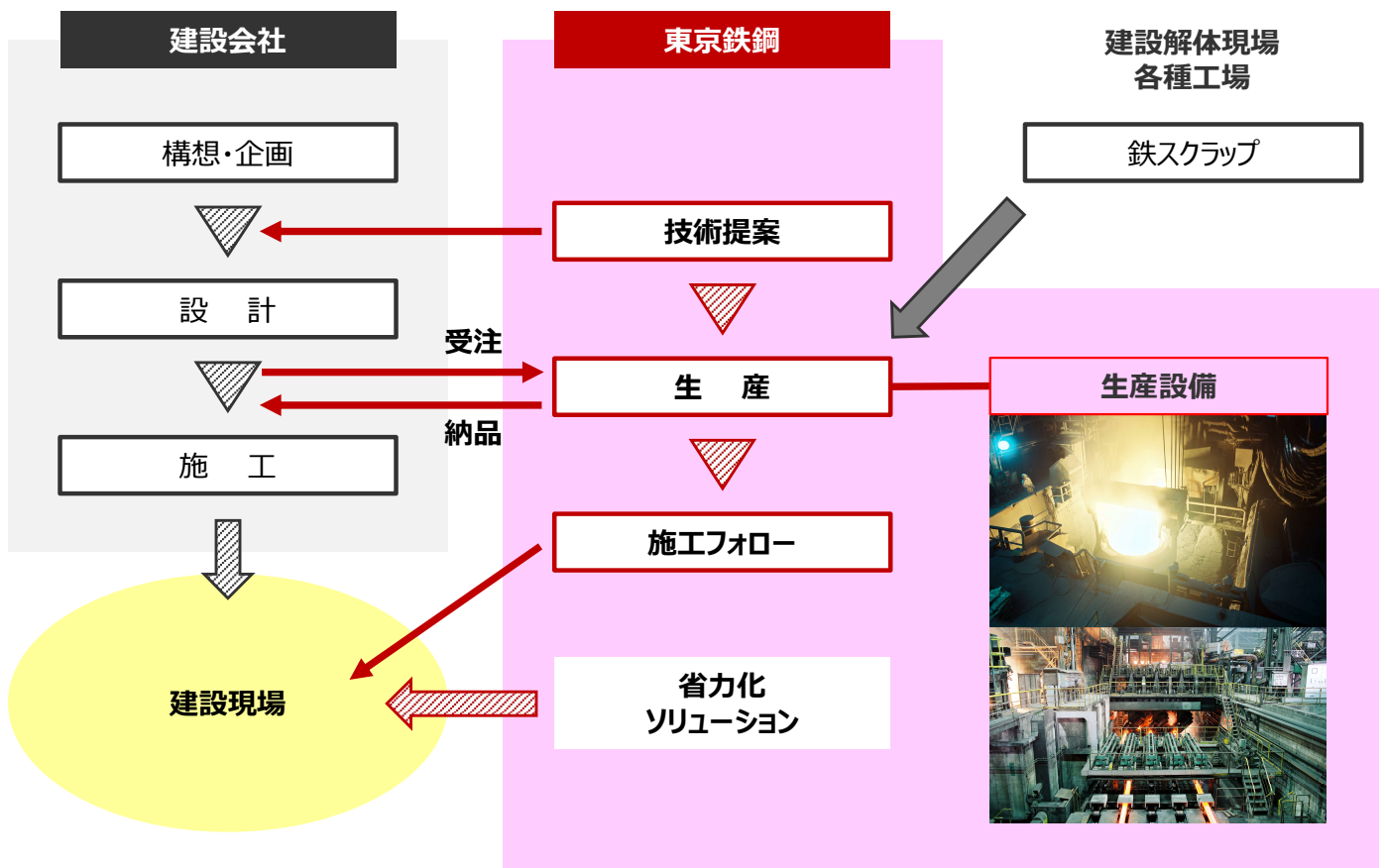


## (6) 事業紹介

### 鉄鋼事業

高付加価値製品と工法で、建設業の省力化に貢献

鉄鋼事業では超高層建築を支えられるネジテツコン・継手などの各種製品、施工の省力化ソリューションを通じて、開発から製造、品質管理、提案営業、施工フォローに至るまで、お客様の課題をトータルでサポートしています。



### 主な製品



ネジテツコン



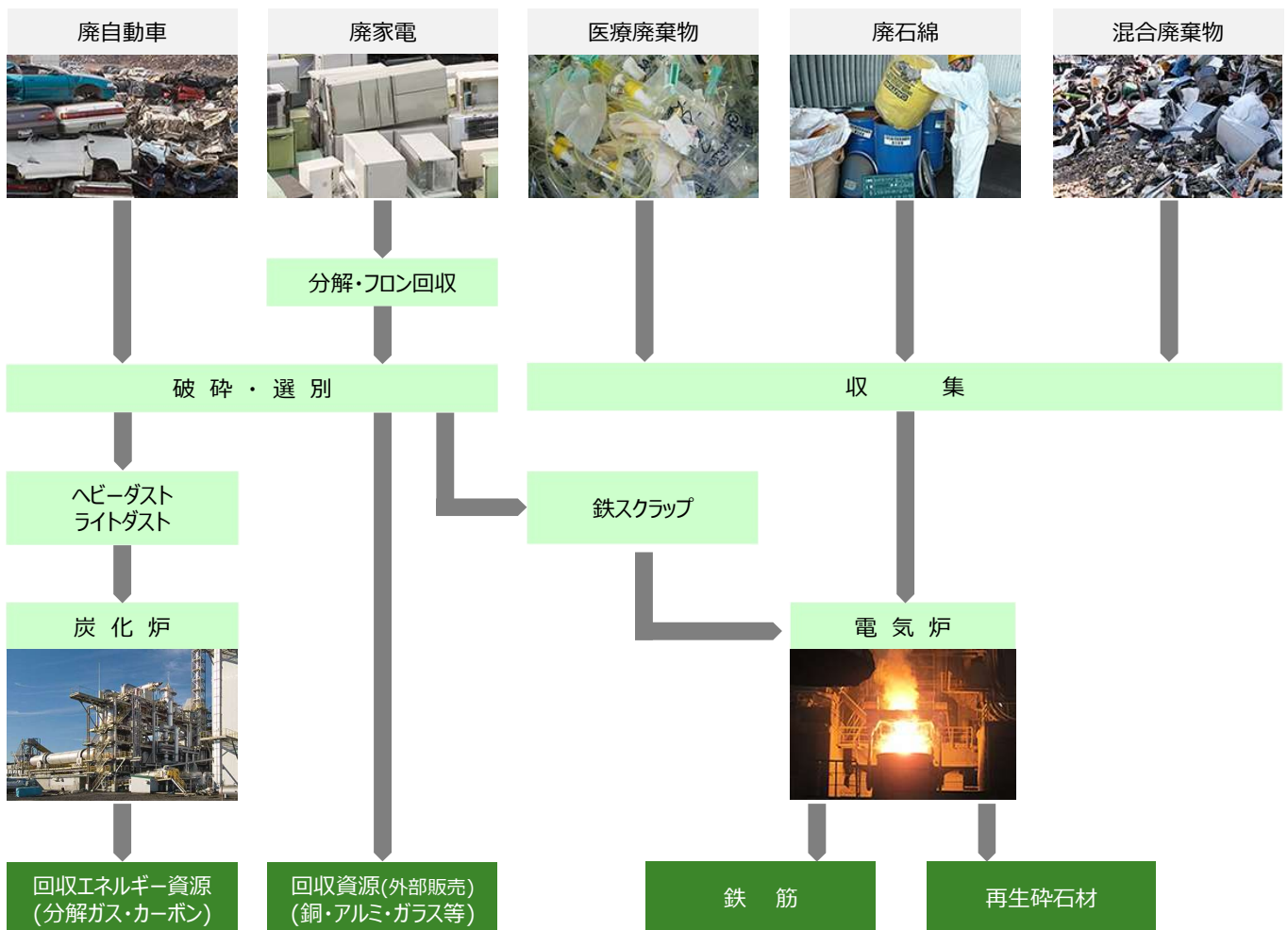
エースジョイント



プレートナット

東京鉄鋼では、八戸工場を中核にして、環境リサイクル事業を展開しております。一つが製鋼用電気炉を活用して有害な産業廃棄物を無害化する分野であり、もう一つが、廃自動車や廃家電などの廃棄物を破碎・分別して、鉄などの有用資源を回収、プラスチックなどは炭化処理し、燃料として再利用する分野です。

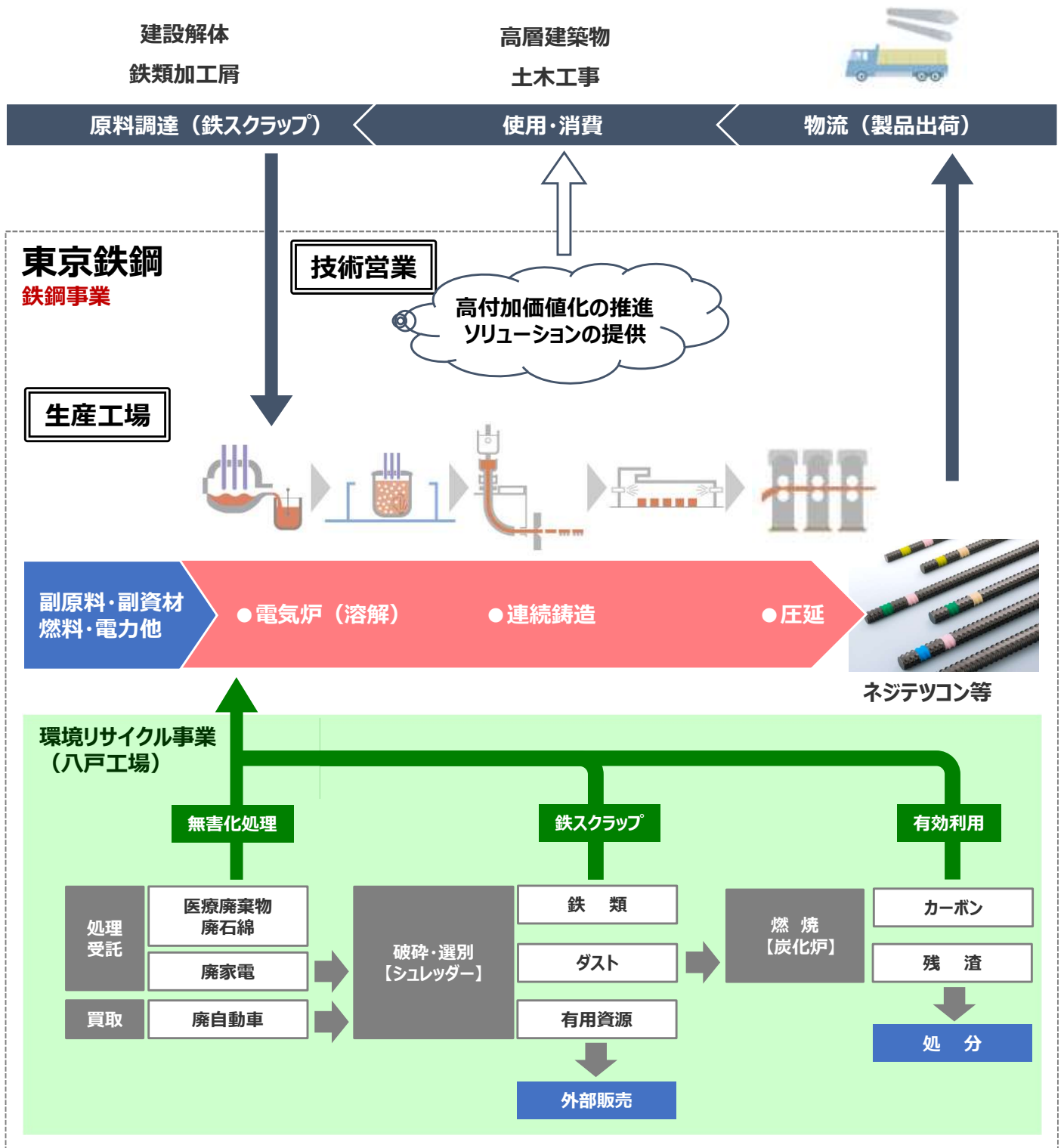
さらに、2018年から高度な技術を用いた低濃度PCB廃棄物の無害化処理事業を開始しました。



## (7) バリューチェーン

建設解体現場や各種工場から回収される鉄スクラップを主原料に用いて、鉄筋コンクリート用棒鋼を製造し、『鉄資源リサイクル事業』を担う企業としての役割を果たしています。

さらに、八戸工場では電気炉をフル活用し、産業廃棄物の無害化処理及び再資源化を行っています。



## (8) リスクと機会と当社の目指す姿

東京鉄鋼は当社を取り巻く事業環境と企業価値を高めて行くための方針をステークホルダーの皆様にご理解いただくために、『中長期経営方針』を策定しました。

### 当社の目指す姿

- 1 市況変動に左右されない収益構造を確立**
  - 高付加価値化の推進
  - エンジニアリング分野の強化
- 2 ソリューションカンパニーへの進化**
  - 躯体工事の省力化・省人化ノウハウを強化育成
  - ソフト分野での差別化を追求
- 3 ROEを重視する経営ヘシフト**



### 機会とリスク

- 人口減による国内建設需要の減少
- 人手不足の深刻化
- 労務負担増加に伴う、工期短縮、省力化などのソリューション・ニーズの高まり
- 鉄スクラップ価格の価格変動
- 副原料、副資材、電力料の高騰

## 2. コーポレート・ガバナンス等の状況

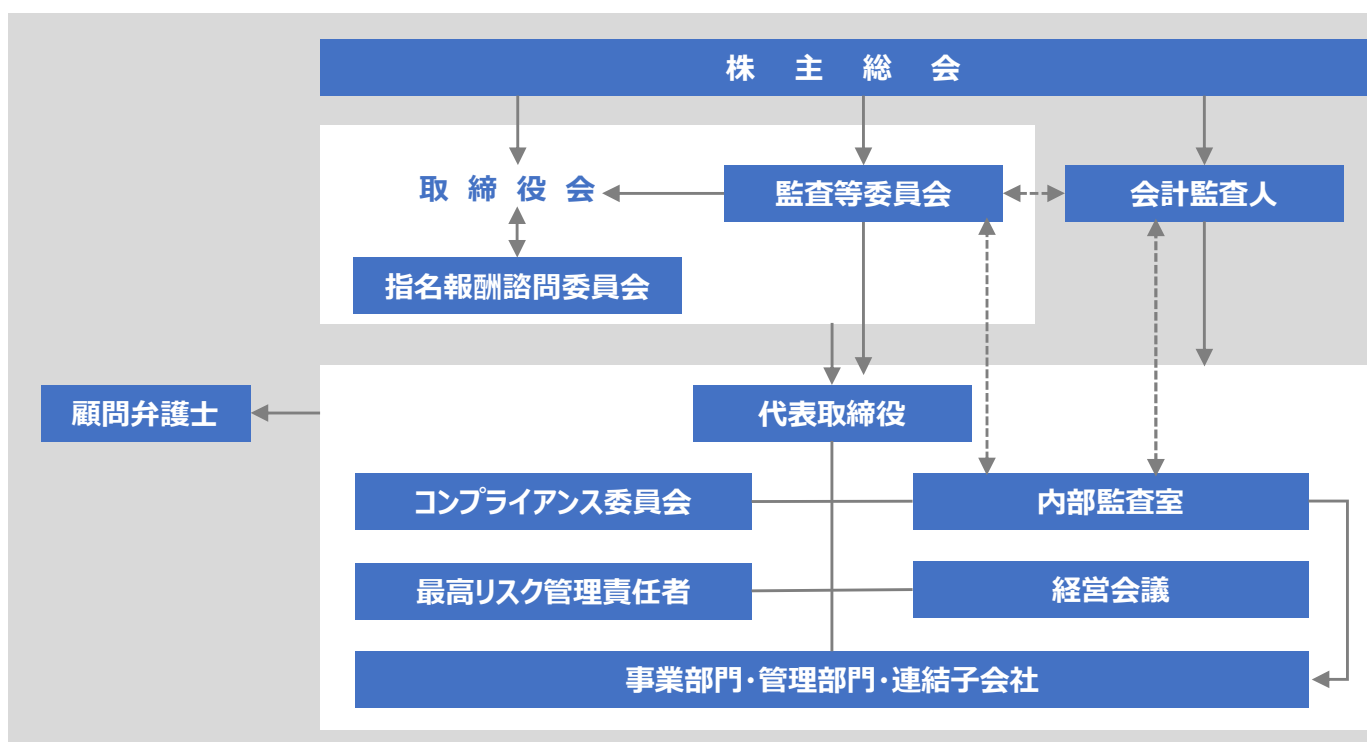
### (1) コーポレート・ガバナンス

東京鉄鋼は、株主・顧客・従業員・地域社会などのステークホルダーとの関係の中で、経営の健全性、透明性を確保し、企業価値を高めるためには、コーポレート・ガバナンスの充実が経営の重要課題と認識しています。

当社の意思決定機関である取締役会は10名の取締役で構成されており、うち5名が監査等委員である取締役です（2021年6月28日現在）。取締役会は原則毎月1回開催され、法令・定款に規定された事項及び経営上の重要事項の報告、審議、決議がなされております。

監査等委員会は原則毎月1回開催され、取締役の職務の執行の監査及び監査報告の作成、株主総会に提出する会計監査人の選解任・不再任に関する議案の内容等の決定を行います。なお、監査等委員である取締役5名のうち4名が社外取締役です（2021年6月28日現在）。

指名報酬諮問委員会は取締役会の決議によって選任された委員7名で構成されており、うち4名が独立社外取締役です。取締役及び執行役員を選任・解任に関する事項、取締役及び執行役員の個人別の報酬に関する事項等について審議し、取締役会に対して答申・助言を行うこととしております。



---

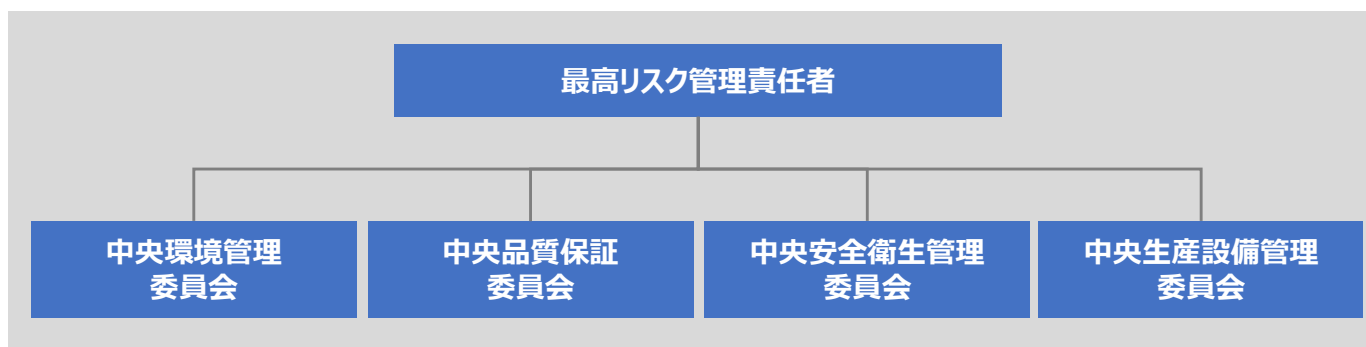
経営会議は、取締役、執行役員、各部門長で構成され、取締役会への付議事項、経営執行に係る重要事項について報告、審議、決定する機関として、月に2回開催されております。

これらの企業統治の体制を採用する理由は、経営の効率化を高め、監査等委員会による取締役の業務執行の監督機能の強化を図り、企業価値向上を目指すため当該体制を採用しております。

## (2) リスク管理体制

---

最高リスク管理責任者のもとに、中央品質保証委員会、中央環境管理委員会、中央安全衛生管理委員会、中央生産設備管理委員会を設置し、重要なリスクと認識している品質、環境、安全、設備について管理体制を構築しております。



## 3. 環境への取り組み

### (1) 取組方針

東京鉄鋼は、ISO14001をグループ全体で取得し、保全活動を推進しています。

#### 基本理念

東京鉄鋼グループは、鉄資源のリサイクルを通じて社会に貢献するため、鉄製品の生産活動を中心に、原材料の供給から製品の納入、産業廃棄物処理といった一連の事業から生じる環境影響を的確に把握し、環境負荷低減活動を推進します。

リサイクル製品による社会貢献をグループ全体の使命と捉え、全従業員は「組織で仕事をする」・「情報を共有する」・「環境のプロになる」を念頭に、安心・安全の信頼を頂ける企業を目指します。

#### 基本方針

1. 「環境マネジメントシステム」を統一システムとし、東京鉄鋼グループ全体の環境保全体系を形成するとともに登録事業所ごとに運用します。
2. 各事業所は、法規制はもとより県条例や地域協定を順守し、公害の発生防止に努めます。
3. 県や市で推進されている環境保全活動には、積極的に参画します。
4. 環境保全活動の運用状況は、定期的な内部環境監査と改善活動の運用報告によって監視し、定期的なシステム見直しと継続的改善を実施します。
5. 東京鉄鋼グループで働くすべての人が、環境保全活動を推進するにあたり、次の項目を優先的に実施します。
  - ① CO<sub>2</sub>削減のため、グループで取り決めた省エネ活動の実践。
  - ② 廃棄物削減のため、社内ルールに従い3Rの実践。  
(減量化、再使用、再生利用)
  - ③ 環境汚染要因の把握と、特定業務の監視・測定。  
(産業廃棄物・化学物質・危険物・特定施設)
  - ④ 省資源化と環境負荷の低減に向けた改善提案の実践。

### (2) コミットメント

東京鉄鋼グループは、2030年のSDGs達成に向け、鉄のリサイクルを通じて社会に貢献していきます。

管理担当 柴田 隆夫

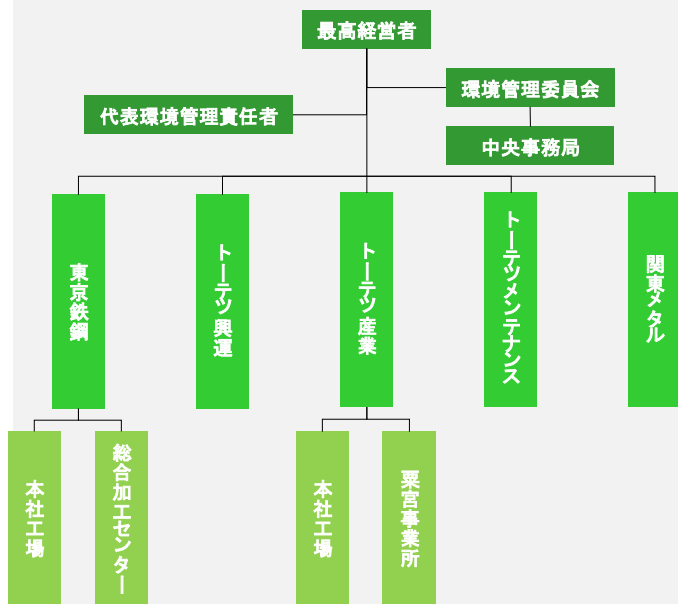


### (3) サステナビリティ・ビジョン

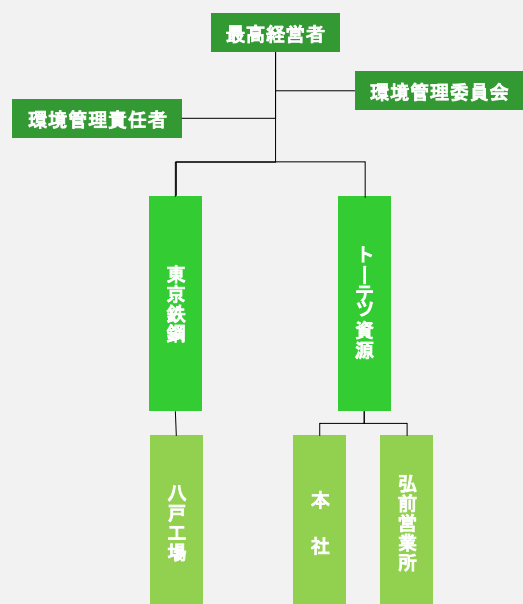
項目	関連のあるSDGsのゴール
<p><b>1. 持続可能な社会の実現</b> 建設解体現場や各種工場から発生する鉄スクラップを主原料に用いて鉄資源リサイクルを担う企業としての役割を果たします。</p>	
<p><b>2. 脱炭素社会の実現</b> 省エネルギー化を推進し、温室効果ガス排出量の低減に取り組みます。</p>	  
<p><b>3. 建設業の発展に寄与</b> ネジテツコン・継手などの高付加価値製品と工法によるソリューションの提供を通じて工期短縮や省力化を実現し建設業界に貢献します。</p>	  
<p><b>4. 環境リサイクルの推進</b> 廃自動車や廃家電、医療廃棄物などの資源リサイクルを行います。 非鉄資源の再利用化や発電事業など、循環型社会の構築に貢献します。</p>	  
<p><b>5. 働きやすい職場づくり</b> 多様な働き方に向けた職場環境の整備を行い、最善の職場を目指します。 作業環境の改善により、安全な職場を目指します。</p>	  
<p><b>6. 地域社会への貢献</b> 地域の社会貢献活動に積極的に参加します。 奨学金事業を推進します。</p>	 

## (4) 環境マネジメント体制

### <東京鉄鋼グループ 栃木県小山地区>



### <東京鉄鋼グループ 青森県八戸地区>



## (5) 環境マネジメントシステム

東京鉄鋼では、ISO14001（環境マネジメントシステム）を以下の通り認証を受け、随時認証の更新を行っています。

事業所	認証日	最終更新日
本社工場	2005/09/22	2020/08/27
八戸工場	2004/09/30	2021/10/21

## (6) 環境目標と実績

[評価基準 : ◎ = 100%以上、○ = 100%未満~80%以上、△ = 80%未満]

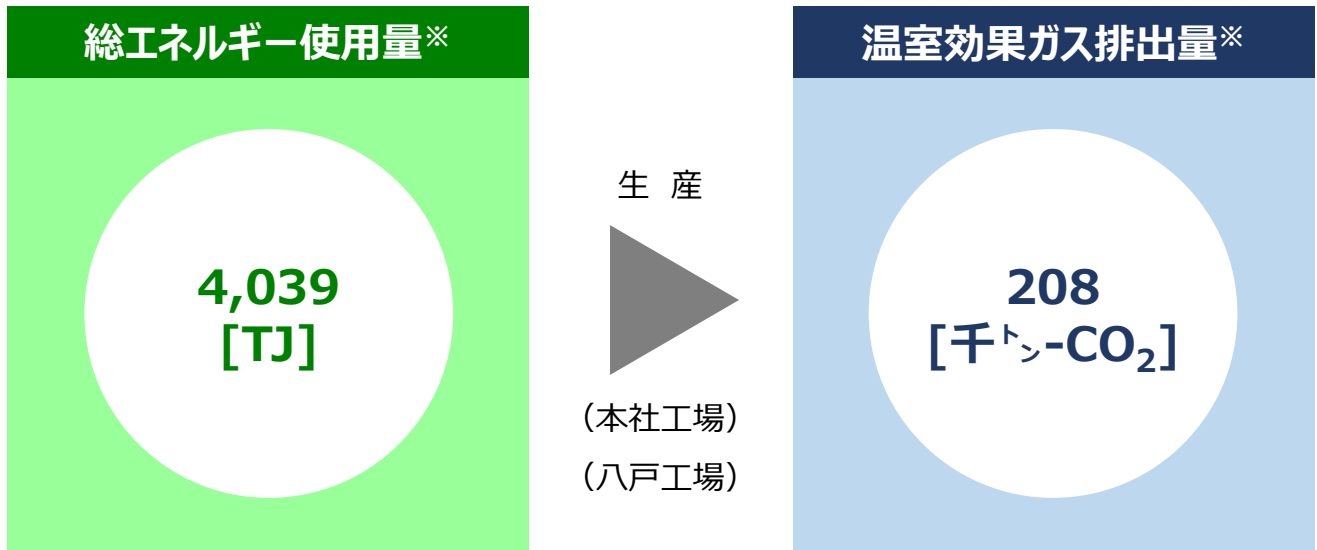
	環境項目	改善目的	実績評価
本社工場	省エネルギーによる天然資源の枯渇抑制及びCO <sub>2</sub> 排出量の低減	電力原単位低減による省エネルギー化	○
		LNG使用量低減によるCO <sub>2</sub> 低減と天然資源の枯渇抑制	○
		工場敷地内における使用電力の削減 (事務所、製品倉庫、ピレットヤード)	◎
	廃棄物処理負荷の低減と適正管理及び排出量抑制	PCB廃棄物の適正管理による漏洩防止	◎
		フロンガス使用機器の適正管理、運用実施	◎
	天然資源の有効活用とリサイクル体制の強化	工場内資源の有効活用	◎
		工程内不良の削減による不適合品発生抑制	○
		安定生産による余剰の減少	○
		事務効率化で天然資源の枯渇抑制	◎
	工場を取り巻く環境の整備と作業環境の改善	工場内の緑地化(実施・推進)を推進し、地球温暖化抑制を実施する	◎
八戸工場	省エネルギーによる天然資源の枯渇抑制及びCO <sub>2</sub> 排出量の低減	電気炉電力原単位の低減	◎
		重油原単位の低減	○
		シュレッダー※1電力原単位の低減	○
		圧延電力原単位の低減	○
		ボイラー燃料の低減(事務棟)	◎
	石油燃料消費低減(製品輸送)	◎	
	天然資源の有効活用とリサイクル体制の強化	洗濯機リサイクル率の向上	○
		断熱フロン回収量の向上	○
		鉄源歩留改善による再生エネルギー資源使用量の低減	◎
	工場を取り巻く環境の整備と作業環境の改善	CO <sub>2</sub> 削減、敷地内環境整備	○
特別管理産業廃棄物保管による水質・土壌汚染の予防		○	
ダスト飛散防止設備改善の推進		○	

注1) 原単位とは、製品の一定量を生産するのに必要な原材料や燃料などの数量のことを言います。  
例えば、当社の場合、粗鋼又は棒鋼1t生産するのに使用した電力量[kwh]を「電力原単位[kwh/t]」と言います。

※1 シュレッダー : 粉砕機

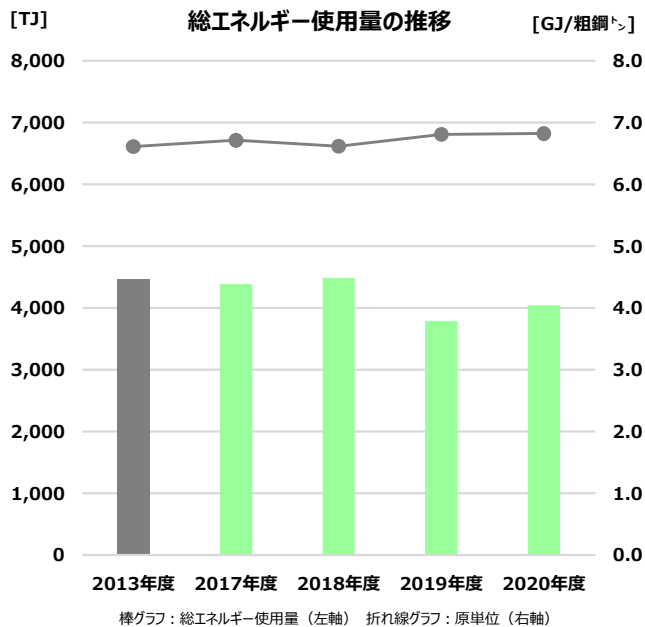
## (7) 主な実績評価指標

### 2020年度実績

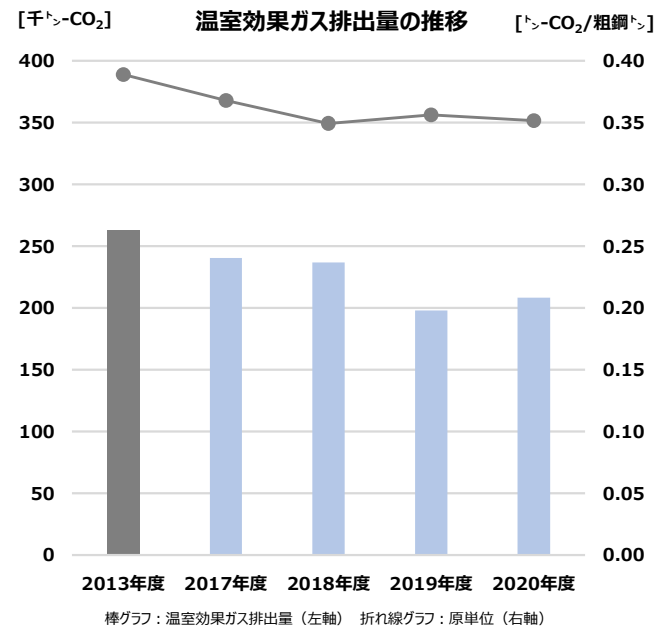


※総エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量についてはスコープ1及び2が対象となっています。

- ・ スコープ1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)
  - ・ スコープ2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
- また、「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」に沿って算定しています。



2020年度の総エネルギー使用量は2013年度に対して、10%減となりました。



2020年度の温室効果ガス排出量は2013年度に対して、21%減となりました。

## ご参考：その他の環境負荷に係るデータ

関連法令	項目	工場等	基準値	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	
大気汚染防止法	ばいじん[g/m <sup>3</sup> ]	本社工場	電気炉	0.1	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	0.002
			加熱炉	0.2	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
		八戸工場	電気炉(直引)	0.06	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
			加熱炉	0.07	0.005	0.011	0.012	0.009	0.006
			炭化炉	0.04	0.004	0.004	0.001	0.002	<0.001
		ダイオキシシ[n-g-TEQ/m <sup>3</sup> ]	本社工場	電気炉	5	0.099	0.27	0.11	0.031
	八戸工場			電気炉(直引)	5	0.019	0.037	0.026	0.00001
			炭化炉	0.7	0.11	0.0065	0.044	0.078	0.18
	So x [ppm]	本社工場	加熱炉	-	<4.7	<4.6	<4.6	<4.7	<4.7
			八戸工場	加熱炉	760	275	294	263	190
	So x [Nm <sup>3</sup> /h]	八戸工場	炭化炉	4.3	0.20	0.45	0.41	0.32	0.28
	NO x [ppm]	本社工場	加熱炉	130	28	26	25	28	28
八戸工場			電気炉(直引)	30	<10	13	6	13	9
		加熱炉	130	58	81	50	96	77	
		炭化炉	100	58	47	55	77	54	
水質汚濁防止法	PH[pH]	本社工場	5.8~8.6	7.5	7.1	7.1	7.3	7.3	
		八戸工場	5.8~8.6	7.8	8.1	8.0	8.2	7.7	
	SS[mg/L] (浮遊物質)	本社工場	40	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	
		八戸工場	40	2.0	2.0	1.0	<1.0	<1.0	
	BOD[mg/L] (生物化学的酸素要求量)	本社工場	20	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	
		八戸工場	30	1.7	1.6	1	3	<0.5	
	ノルマルヘキサ[n-mg/L]	本社工場	5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	
		八戸工場	5	<1	<1	<1	<1	<1	

項目	工場等	分類	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	
特定化学物質	ダイオキシシ[n-mg-TEQ/年]	本社工場	排出量	190	680	280	40	30
		八戸工場	排出量	70	90	80	10	30
			移動量	1200	190	100	80	140
	マンガ及びその化合物[t/年]	本社工場	移動量	270	330	370	310	320
八戸工場		移動量	220	250	260	190	180	
廃棄物等	特管ばいじん[t/年]	本社工場	排出量	6,537	7,997	9,079	7,822	8,722
		八戸工場	排出量	5,054	5,135	4,792	3,900	4,387
	鋳さい[t/年]	本社工場	排出量	26,695	32,723	36,878	31,129	32,138
		八戸工場	排出量	21,878	25,474	30,495	19,155	18,237
	廃油[t/年]	本社工場	排出量	110	105	135	155	145
		八戸工場	排出量	12.7	11.9	5.5	8.8	1.5
	汚泥[t/年]	本社工場	排出量	707	906	845	882	974
		八戸工場	排出量	128	170	132	81	124

注) 「<」は未満であることを示します。

## ■環境製品宣言の取得

東京鉄鋼では主力製品である「ネジテツコン」について、2018年6月に（一社）産業環境管理協会が認証する環境ラベル「エコリーフ」を取得しました。「エコリーフ」は、ライフサイクルアセスメント手法を用いて、資源採取から製造、物流、使用、廃棄・リサイクルまでの製品の全ライフサイクルにわたる環境情報を開示する環境ラベル（EPD）です。

東京鉄鋼は環境情報開示することで社会貢献に果たして参ります。



エコリーフ  
タイプⅢ環境宣言 (EPD)  
登録番号：JR-AJ-18001E

JEMAI環境ラベルプログラム  
一般社団法人産業環境管理協会  
東京都千代田区鍛冶町2-2-1  
https://www.jemai-label.jp



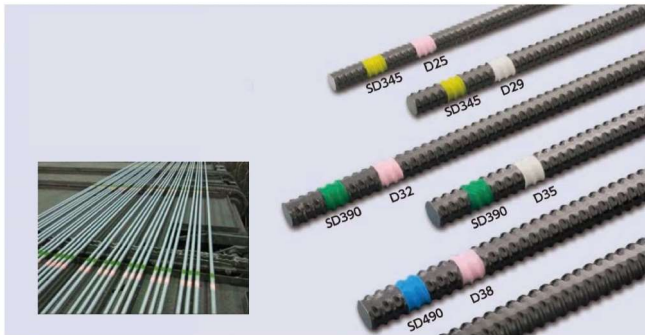
エコリーフ  
タイプⅢ環境宣言 (EPD)  
登録番号：JR-AJ-18001E

JEMAI環境ラベルプログラム  
一般社団法人産業環境管理協会  
東京都千代田区鍛冶町2-2-1  
https://www.jemai-label.jp

東京鉄鋼株式会社  
(TOKYO TEKKO CO.,LTD.)

ネジテツコン

(Neji-Tetsu-Con, Hot rolled threaded rebars)



### 算定単位

1 t

### 算定対象段階

最終財 中間財  
製造段階（原材料調達、原材料の輸送、製品の製造）および間接影響

### 製品の型式、主要仕様・諸元

形状：ねじ筋 長さ：3.5m~13m  
鋼種：SD295A,SD345,SD390,SD490,USD590  
寸法及び質量：

呼び名(サイズ)、単位質量(kg/m)					
呼び名	単位質量	呼び名	単位質量	呼び名	単位質量
D10	0.560	D22	3.04	D35	7.51
D13	0.995	D25	3.98	D38	8.95
D16	1.56	D29	5.04	D41	10.5
D19	2.25	D32	6.23	D51	15.9

主要生産サイト：本社工場、八戸工場

### 問い合わせ先

東京鉄鋼株式会社 総合企画部企画課  
TEL: (03)5276-9702 http://www.tokyotekko.co.jp

### 登録番号

JR-AJ-18001E

### 適用PCR番号

PA-186130-AJ-01

### PCR名

ねじ筋鉄筋(中間財)

### 公開日

2018年8月10日

### 検証合格日

2018年8月1日

### 検証方式

個別別検証方式

### 検証番号

JV-AJ-18001E

### 検証有効期間

2023年7月31日

### PCRレビューの実施

認定日・改定日

2018年 6月29日

委員長 神崎 昌之

(一般社団法人産業環境管理協会)

### 第三者検証者\*

外部検証員 奥山 哲也

ISO14025およびISO21930に従った

本宣言及びデータの独立した検証

内部 外部

登録番号：JR-AJ-18001E

### ①ライフサイクル影響評価結果

項目	単位	合計	0%	20%	40%	60%	80%	100%
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	kg-CO <sub>2</sub> eq	760	26%	11%	63%			
酸性化	kg-SO <sub>2</sub> eq	1.0	15%	27%	58%			
光化学オキシダント	kg-C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> eq	0.013	17%	4%	79%			

■【A1】原材料調達 ■【A2】原材料の輸送 ■【A3】製品の製造

内訳	項目	単位	合計	【A1】 原材料調達	【A2】 原材料の輸送	【A3】 製品の製造	間接影響 【D】鉄鋼材料の リサイクル効果
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	kg-CO <sub>2</sub> eq		7.6E+02	1.9E+02	8.3E+01	4.8E+02	1.1E+02
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq		4.6E-07	1.6E-07	6.9E-10	3.0E-07	2.0E-08
酸性化	kg-SO <sub>2</sub> eq		1.0E+00	1.5E-01	2.8E-01	5.8E-01	1.7E-01
光化学オキシダント	kg-C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> eq		1.3E-02	2.2E-03	5.1E-04	9.9E-03	2.4E-02
富栄養化	kg-PO <sub>4</sub> <sup>3-</sup> eq		5.7E-04	1.9E-07	5.9E-13	5.7E-04	2.0E-03

### ②ライフサイクルインベントリ分析関連情報

項目	単位
非再生可能元素・非再生材料	7.9E+01 kg
非再生可能エネルギー	2.7E+02 kg
非再生可能エネルギー	1.1E+04 MJ
再生可能材料・元素	2.4E+02 kg
再生可能エネルギー	2.5E+02 MJ
淡水の消費	1.2E-01 m <sup>3</sup>

### ⑤算定結果に関する追加情報

①間接影響として、鉄鋼材料のリサイクル効果（鉄スクラップの環境負荷）を評価をして、上欄の表に記載した。間接影響分は、プラスの値として加算される。

②輸送シナリオは、PCRに従った。

③SD295A,SD345,SD390,SD490,USD590の5鋼種の平均値を表示した。

### ③材料及び物質に関する構成成分

項目	単位
鉄	96.8 < %
カーボン	<0.4 %
シリコン	<1.0 %
マンガン	<1.8 %

## (8) 環境負荷低減における取り組み

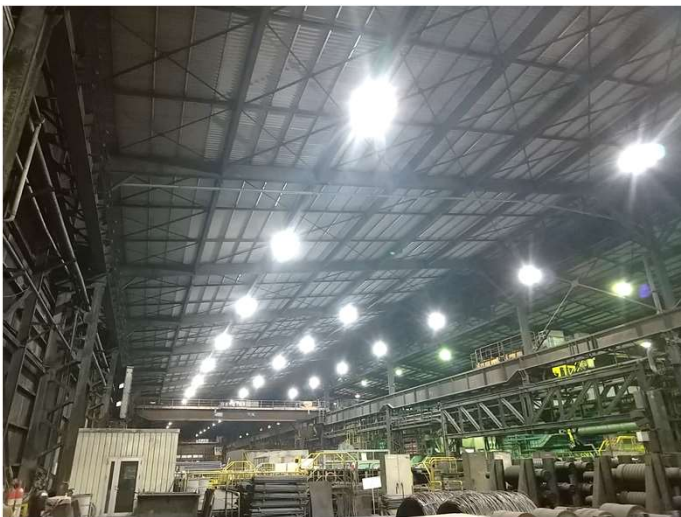
東京鉄鋼では、原単位の低減や省エネ設備の導入を推進しています。

### ■改善への挑戦！Action 1 UP

2019年に改善活動をリニューアルし、『改善への挑戦！Action 1 UP』をスタートしました。この活動では、従来の「生産性向上」、「品質向上」、「コスト削減」、「業務効率化」など省エネ活動に加えて、「職場で困っていること」、「笑顔になれること」、「喜んでもらえること」に着眼点を置いて、個のレベルアップも促しています。

### ■省エネ設備の導入

本社工場、八戸工場では、事務棟・倉庫等の照明のLED化、高効率変圧器の更新により、年間消費電力の低減を図っています。



製品ヤードの天井照明LED化

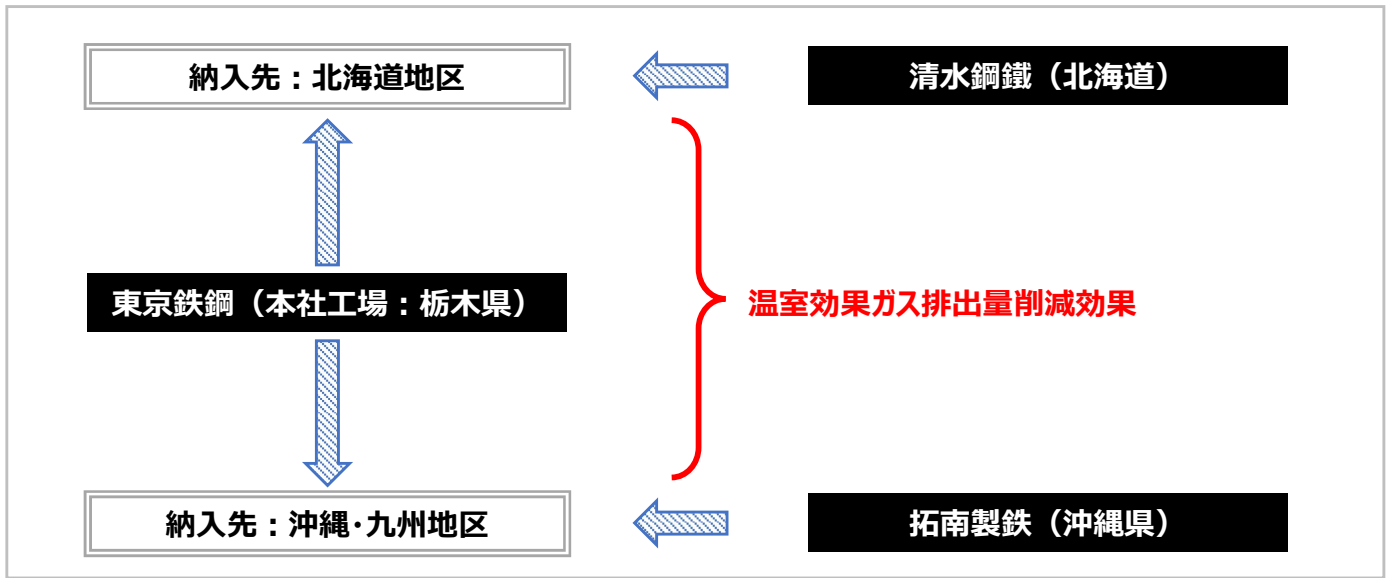


高効率な変圧器へ更新

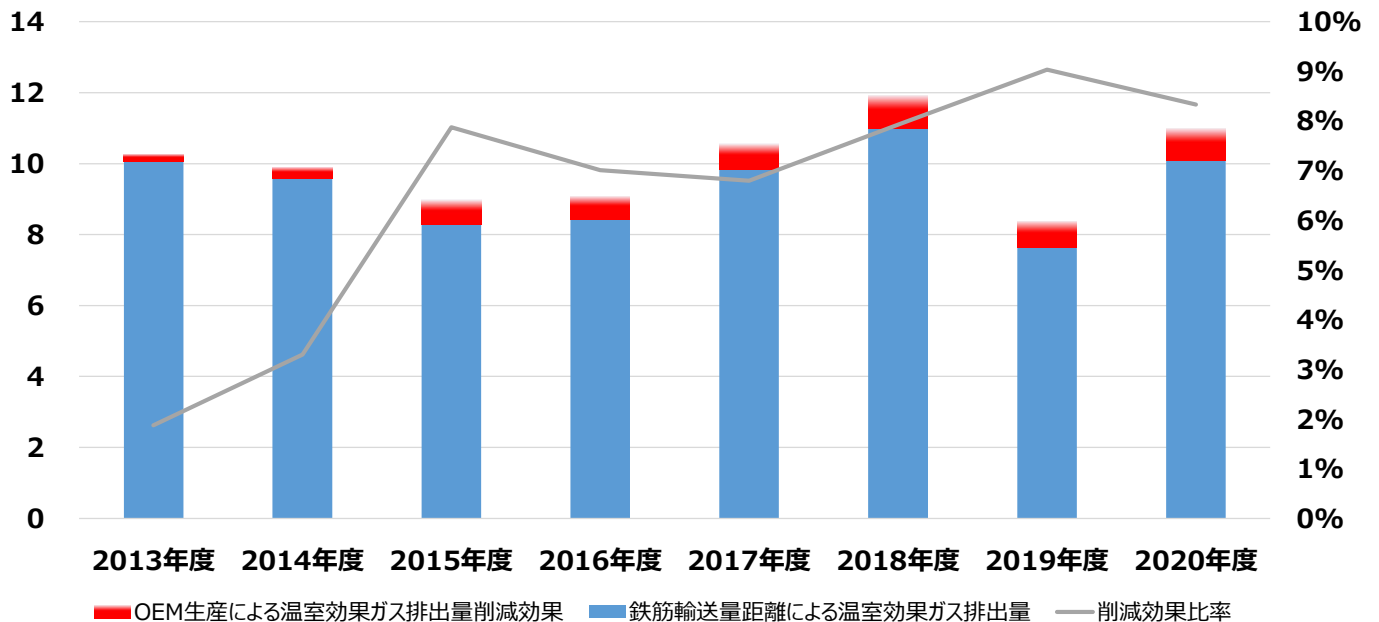
## ■ 鉄筋輸送量距離の低減による温室効果ガス排出量削減

東京鉄鋼は、全国に「ネジテツコン」を販売しています。

拓南製鉄株式会社や清水鋼鐵株式会社によるネジテツコンのOEM生産が開始したことにより、関東地区から九州・沖縄地区及び北海道地区への輸送距離を低減しています。



[千トン-CO2]



鉄筋輸送量距離による温室効果ガス排出量は、「貨物輸送事業者に行わせる貨物の輸送に係るエネルギーの使用量の算定の方法」に沿って算定しています。

OEM生産による温室効果ガス排出量削減効果は、OEM先からの出荷重量と東京鉄鋼から各地域へ出荷した場合の概算距離を輸送量とし、各種係数により推算した温室効果ガス排出量を使用しています。



## (9) 社会貢献活動

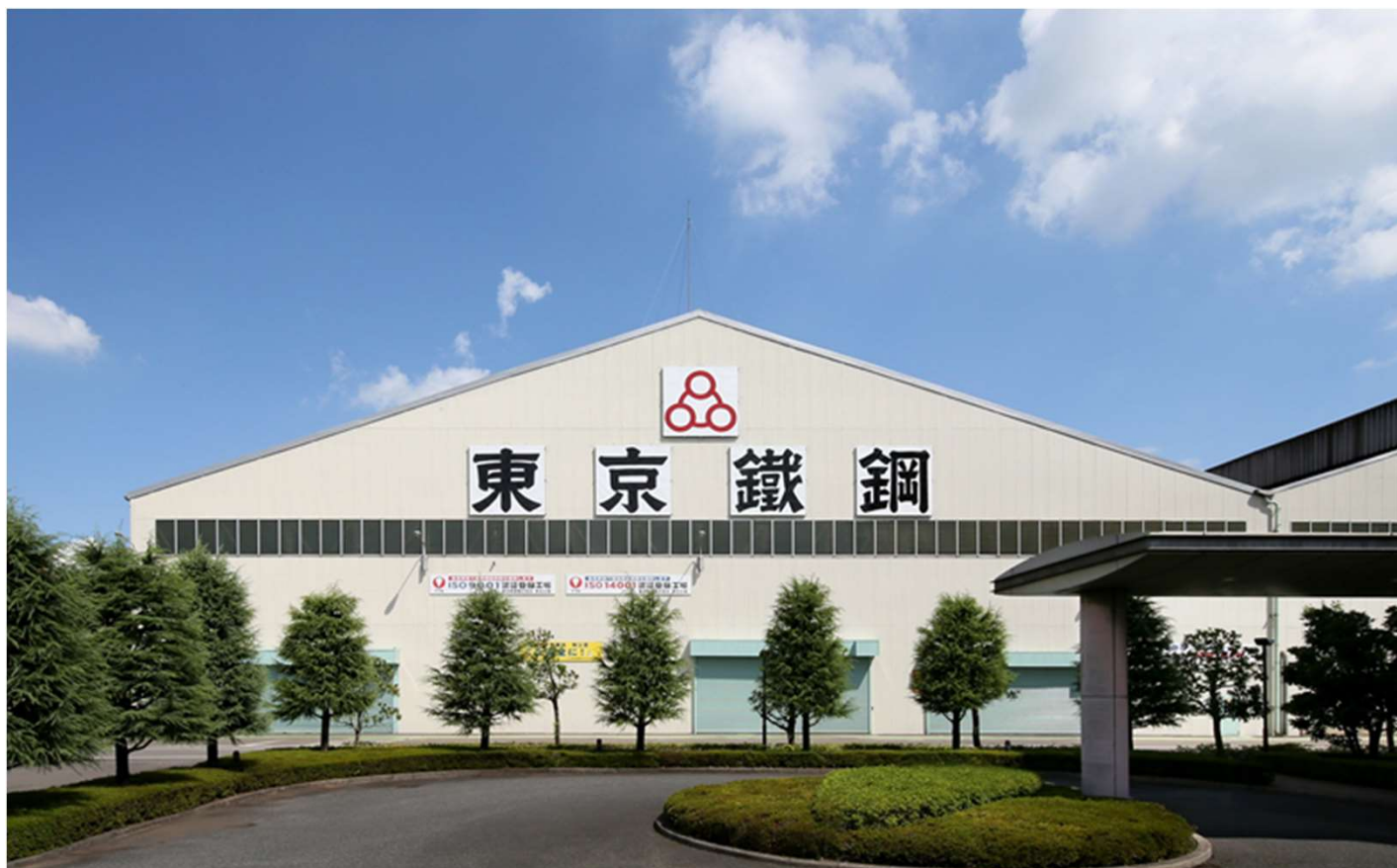
---

東京鉄鋼では、以下の取り組みを実行しています。

- 『小山第一工業団地「ゼロエミッション」活動』に参画しています。使用済み作業着の反毛リサイクルなどの取り組みを推進しています。
- 使用済み切手の収集並びに寄付に取り組んでいます。
- 二酸化炭素やごみの排出量を減していこうとするエコ活動『あおりエコの環スマイルプロジェクト』へ協賛し、地域のみなさまが行う環境活動の助成を行っています。
- まちの環境美化活動を推進している『はちのへクリーンパートナー制度』へ登録しています。また、当社 八戸工場の周辺周辺道路のごみ収集活動を実施しています。



八戸工場の周辺周辺道路のごみ収集活動の様子



## 東京鉄鋼株式会社

---

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-7-2 ステージビルディング10階・11階・12階

TEL : 03-5276-9700 FAX : 03-5276-9711

<http://www.tokyotekko.co.jp>